

2016年2月8日

岡山県知事
伊原木隆太 様

日本共産党岡山県議会議員団
森脇 久紀
氏平みほ子
須増 伸子

2016年度予算への要望書

(1) 医療・福祉の充実について

1. 単県医療費公費負担制度の見直しをおこなってください。
 - ①小児医療費公費負担制度の対象年齢を超えた障がい児に対して、せめて高校卒業年齢（できれば20歳まで）、親の所得によらず医療費の自己負担を無料にすること。
 - ②倉敷市への補助率を上げること。
 - ③県が定めている自己負担をなくすこと。
 - ④小児医療費公費負担制度の対象年齢を拡大すること。
2. 待機児解消に県として一層のご尽力をお願いします。
 - ①保育所待機児童の急増に対し、国では「待機児童解消加速化プラン」に基づく保育所の整備などの各施策を打ち出している。県としても保育所整備計画をもち、待機児童解消に向けて積極的にとりくむこと。
 - ②第3子以降保育料無償化事業の考え方に基づいて、この事業を仮に実施しない市町村であっても、今年度から多子世帯ほど保育料が上がっている事態だけは、調査し是正すること。
3. 障害者差別解消法にもとづくとりくみを全庁体制で強めてください。

(2) 教育施策について

1. 学校現場における諸課題へのとりくみは、「教員が持てる力をのびのび発揮でき、児童生徒が生き生き輝く教育環境をつくる」ことを基本にすすめてください。
 - ①正規教員を増員やし、教員が指導力を発揮できる環境を整えること。
 - ②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを、常勤の職として位置づける方向を検討すること。
 - ③学校現場の問題解決を「警察力」に頼ることは慎むこと。
 - ④全国学力・学習状況調査等の順位で学力を議論することはやめること。「生き生きプラン」の目標も見直すこと。

2. 特別支援学級の複式編成において、「学年に関係なく8人を超えない場合1学級」とする県独自の基準を見直し、1学級が4以上の学年となるような複式編成は直ちになくしてください。1学級が3学年になる複式編成についても、例外を除き計画的になくしてください。
3. 引き続き私学助成の拡充にとりこんでください。

(3) 産業振興について

中小企業、小規模事業者が雇用を増やし、設備投資にとりくむなど、元気に経営ができるようにするための各種支援を強めてください。大企業に対して、地域貢献の一環として中小企業や小規模事業者への支援をさらに強めていただくよう求めてください。

- ①小規模事業者の実態調査をおこない施策に反映させること。
- ②下請け代金が適正な金額となるよう調査し、必要に応じて親会社への監督、要請をおこなうこと。
- ③公契約に関わるすべての労働者に適正な賃金が支払われるよう、公契約条例を制定すること。
- ④県関係の各種相談員にも昇給制度を導入すること。非正規雇用の若年労働者の賃金を引き上げること。
- ⑤住宅や商店のリフォーム補助制度をつくること。
- ⑥小規模事業者に利用しやすく工夫した「ものづくりのための補助金」や、新たな事業展開だけでなく「事業持続化のための補助金」なども制度化すること。
- ⑦「小口零細企業保証」など100%保証の融資制度を拡充すること。

(4) その他

1. 倉敷駅付近連続立体交差事業はきっぱり中止を決断すること。
2. 新たな県庁食堂をつくること。

以上